別記様式第二十三号（第十六条関係）（平８法省令61・全改、令元法省令18・一部改正）

遺族給付年金前払一時金請求書

<table>
<tr><td>（給付を行う者の官職氏名）
法務大臣＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿殿
下記の遺族給付年金前払一時金を請求します。</td><td>請求年月日：　　年　　月　　日
請求者（代表者）の
住　所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
氏　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿㊞
被害者との続柄</td></tr>
<tr><td>1.　請求者（代表者）が選択する遺族給付年金前払一時金の額</td><td>給付基礎額の　□ 1,000倍　□ 800倍　□ 600倍　□ 400倍　□ 200倍　に相当する額</td></tr>
<tr><td>2.　遺族給付年金前払一時金の請求額</td><td>（給付基礎額）
円×　　日分×$\frac{1}{\text{（請求者の数）}}$
＝　　円</td></tr>
<tr><td>3.　遺族給付年金前払一時金の請求額の合計額</td><td>（2.の請求額）（請求者の数）
円×　　＝　　円</td></tr>
<tr><td>4.　遺族給付年金前払一時金の申出を行つた月までの期間に係る遺族給付年金の額の合計額</td><td>年　　月分から
年　　月分まで
円</td></tr>
<tr><td>5.　遺族給付年金の支給決定に関する通知を受けた年月日</td><td>年　　月　　日</td></tr>
<tr><td colspan="2">（代表者の氏名）
＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿を代表者として，遺族給付年金前払一時金の請求及び受領を委任します。</td></tr>
</table>

	住　所	氏　名	被害者との続柄
6.　請求者の同順位者			

※7. 決　　定	年　月　日	※8. 決定金額	円

（記入上の注意）

1　請求者は，※印の欄には記入しないでください。

2　「1. 請求者（代表者）が選択する遺族給付年金前払一時金の額」の欄については，請求者（代表者）が選択する□に✓印を記入してください。

3　「4. 遺族給付年金前払一時金の申出を行った月までの期間に係る遺族給付年金の額の合計額」及び「5. 遺族給付年金の支給決定に関する通知を受けた年月日」の欄には遺族給付年金の最初の支払に先立って申し出る場合は記入しないでください。

（日本産業規格A列4番）